

意欲的に学び、確かな国語力を身につけ、心豊かな生徒を育てるための国語科の指導はどのようにすればよいか。

自ら学び自ら考える力を高める高校国語科学習指導

～「習得→活用→探究」のプロセスを通して～

若狭高等学校 渡 邊 久 暢

本発表においては、発表者が行った授業実践をもとにして、自ら学び自ら考える力を高める高校国語科学習指導のあり方について考察を行う。

1 「習得→活用→探究」のプロセスとは

自ら学び自ら考える力を高めるための手だての一つに、「探究的な学習活動」がある。平成 18 年 2 月に発表された、中央教育審議会教育課程部会審議経過報告（平成 18 年 2 月 13 日）には、次のように示されている。

探究的な活動を行うことは、子どもの知的好奇心を刺激し、学ぶ意欲を高めたり、知識・技能を体験的に理解させたりする上で重要なことであり、自ら学び自ら考える力を高めるため、積極的に推進する必要がある。 (傍線は発表者)

自ら学び自ら考える力を高めるために、探究的な学習活動を！

この探究型学習は、知識・技能の習得や活用をふまえた上で行われなければならない。その具体的方策については、『第 3 期教育課程部会の審議の状況について』中央教育審議会教育課程部会(平成 19 年 1 月 26 日)には、「(2) 各教科等の教育内容の改善」の中で、次のように示されている。

基礎的・基本的な知識・技能の育成（いわゆる習得型の教育）と自ら学び自ら考える力の育成（いわゆる探究型の教育）とは、対立的あるいは二者択一的にとらえるべきものではなく、この両方を総合的に育成する具体的な方策を示すことが必要である。このため、いわば活用型の教育ともいえるべき学習を両者の間に位置付ける方向で検討を進めている。

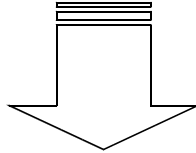
すなわち、

- ①基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させることを基本とする。
- ②こうした理解・定着を基礎として、知識・技能を実際に活用する力の育成を重視する。さらに、
- ③この活用する力を基礎として、実際に課題を探究する活動を行うことで、自ら学び自

ら考える力を高めることが必要である。このような過程を各教科等に即して具体的に検討している。

(傍線は発表者)

知識・技能を育てる「習得型」の学習と、
思考力や問題解決力を育てる「探究型」の学習を
つなぐものとして、「活用型」の学習を！！



- ① 知識技能を習得させ、
- ② 知識技能を活用する力を育て、
- ③ 探究させる

このプロセスを通して、
「自ら学び自ら考える力」を育てる。

以下、続く・・・